

ヤチシャジン

(キキョウ科)

明るい湿地に生える多年草。青紫色の花が満開です。希少種なのでお見逃しなく。環境省：絶滅危惧 IA 類 (CR)。

展示会のご案内

◇展示温室 (7/21~8/19)

世界の食虫植物展

◇展示資料館 (7/28~9/5)

ボタニカルアート作品展

7/21 (土) ~8/30(木) サマーフェア

ハマゴウ (クマツヅラ科)

アジア・オーストラリアの広域に分布する海浜植物。植物体全体に芳香があり、和名は浜香、または浜這が転じたもの。薬効作用があることから、生薬としても用いられます。種子はコルク質で水に浮き、海流によって分布を広げることができます。今が花期のセイヨウニンジンボクも同じ属です。

熱帯
スイレン
温室
休館中

ヘリコニア

(オウムバナ科)

中南米原産の多年草。極楽鳥花に似ていますが、別の科です。名前の由来は、花が螺旋形につくことからで、ヘリコプターと語源は同じです。

ワシントンヤシモドキ

(ヤシ科)

米国加州・メキシコ北部原産。見上げると花がよく咲いています。開園当初に植えた植物で、当時は樹高がわずか3m程度でした。

夏花壇の植物

花壇の植替えを行いました。センニチコウ、ペンタス、コリウス、バーベナ、メランポジウム、トウガラシなどが見られます。大温室前はアンゲロニア、レストラン前はキバナコスモスの花壇です。

オジギソウ (マメ科)

南アメリカ原産で、夏にピンク色で小さいボール状の花を咲かせます。葉に触れると閉じる「動く植物」です。

カラスザンショウ

(ミカン科)

サンショウのなかまですが、普通食用にはなりません。伐採跡によく見られます。アゲハチョウの食草になるほか、蜜源植物でもあり、花にハチが集まっています。

通行止め

アネモネ・フベヘンシス

(キンポウゲ科)

シュウメイギク(秋明菊)の基本種で、中国原産です。アネモネのなかまは花弁がなく、花弁のように見える部分はガク片です。

ロシアヒマワリ (キク科)

種子を油や飼料に使うために改良された品種で、背丈が高く、また人の頭より大きな巨大な花を咲かせることが特徴です。ロシア・ペルーの国花としても知られています。

ホウライチク (イネ科)

日本に見られるマダケやモウソウチクなどと違い、熱帯の竹(バンブー)です。東南アジア・中国原産。地下茎を伸ばさず、株立ちとなります。火縄銃(火縄)の原料として伝来しました。

